

令和2年8月26日
午前10時00分開会
於 議 場

1. 出席議員は次のとおりである（16名）

1 番	板 倉 克 典	2 番	那 須 英 二
3 番	小久保 照 枝	4 番	堀 岡 敏 喜
5 番	加 藤 明 由	6 番	佐 藤 仁 志
7 番	横 井 克 典	8 番	江 崎 貴 大
9 番	加 藤 克 之	10 番	高 橋 八重典
11 番	鈴 木 みどり	12 番	早 川 公 二
13 番	平 野 広 行	14 番	三 浦 義 光
15 番	佐 藤 高 清	16 番	大 原 功

2. 欠席議員は次のとおりである（なし）

3. 会議録署名議員

6 番	佐 藤 仁 志	7 番	横 井 克 典
-----	---------	-----	---------

4. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名（34名）

市 長	安 藤 正 明	副 市 長	村 瀬 美 樹
教 育 長	奥 山 巧	総 務 部 長	渡 邊 秀 樹
市民生活部長	横 山 和 久	健康福祉部長兼 福祉事務所長	宇佐美 悟
建 設 部 長	大 野 勝 貴	教 育 部 長	山 下 正 巳
総務部次長兼 総 務 課 長	伊 藤 重 行	総務部次長兼 企画政策課長	佐 野 智 雄
総務部次長兼 防 災 課 長	伊 藤 淳 人	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	伊 藤 えい子
監 査 委 員 長 事 務 局 長	佐 藤 雅 人	健康福祉部次長兼 福 祉 課 長	大 木 弘 己
建設部次長兼 農 政 課 長	小笠原 己喜雄	建設部次長兼 土 木 課 長	伊 藤 仁 史
財 政 課 長	立 石 隆 信	人事秘書課長	山 森 隆 彦
税 務 課 長	横 江 兼 光	収 納 課 長	細 野 英 樹
市 民 課 長	鈴 木 博 貴	市民協働課長	安 井 幹 雄
商工観光課長	浅 野 克 教	十四山支所長	山 田 淳
保険年金課長	服 部 利 恵	健康推進課長	山 守 美代子

介護高齢課長兼 総合福祉 センター所長兼 十四山総合福祉 センター所長	藤井清和	児童課長	飯田宏基
都市整備課長	梅田英明	下水道課長	水谷繁樹
学校教育課長	渡邊一弘	生涯学習課長兼 十四山スポーツ センター館長	中野修
歴史民俗資料館長	伊藤隆彦	図書館長	服部朋夫

5. 本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	柴田寿文	書記	佐藤文彦
書記	鷺尾里恵		

6. 議事日程

日程第1	会議録署名議員の指名
日程第2	会期の決定
日程第3	諸般の報告
日程第4 同意第15号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
日程第5 同意第16号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
日程第6 同意第17号	教育委員会委員の任命について
日程第7 議案第48号	令和2年度弥富市一般会計補正予算（第4号）
日程第8 議案第49号	令和2年度弥富市一般会計補正予算（第5号）
日程第9 議案第50号	令和2年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
日程第10 議案第51号	令和2年度弥富市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
日程第11 議案第52号	令和2年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第1号）
日程第12 認定第1号	令和元年度弥富市一般会計歳入歳出決算認定について
日程第13 認定第2号	令和元年度弥富市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について
日程第14 認定第3号	令和元年度弥富市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
日程第15 認定第4号	令和元年度弥富市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
日程第16 認定第5号	令和元年度弥富市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
日程第17 認定第6号	令和元年度弥富市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
日程第18 認定第7号	令和元年度弥富市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

午前10時00分 開会

○議長（大原 功君） ただいまより令和2年第3回弥富市議会定例会を開会いたします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、議場には定足数の8人を下回らないよう入場し、他の議員につきましては、議員控室のモニターで視聴し、審議に参加してください。

なお、採決につきましては、全議員が議場に入場してください。

それでは、これより会議に入ります。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（大原 功君） 日程第1、会議録署名議員の指名をいたします。

会議規則第88条の規定により、佐藤仁志議員と横井克典議員を指名いたします。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

日程第2 会期の決定

○議長（大原 功君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

第3回弥富市議会定例会の会期を本日から9月23日までの29日間としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は本日から9月23日までの29日間と決定いたします。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

日程第3 諸般の報告

○議長（大原 功君） 日程第3、諸般の報告をいたします。

安藤市長から地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、令和元年度健全化判断比率報告書並びに資金不足比率報告書が、また地方自治法施行令の規定により、令和元年度弥富市一般会計継続費清算報告書の提出がされました。

次に、監査委員から地方自治法の規定により、例月出納検査の結果及び定期監査の結果がそれぞれに提出され、その写しを各位のお手元に配付してありますので、よろしく願いをいたします。

以上、諸般の報告を終わります。

～～～～～～～～ ○ ～～～～～～～～～

日程第4 同意第15号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

日程第5 同意第16号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

日程第6 同意第17号 教育委員会委員の任命について

○議長（大原 功君） この際、日程第4、同意第15号から日程第6、同意第17号まで、以上3件を一括議題といたします。

安藤市長に提案理由の説明を求めます。

安藤市長。

○市長（安藤正明君） 改めまして、おはようございます。

令和2年第3回弥富市議会定例会の開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、公私とも極めて御多忙の中を御出席賜りまして厚くお礼を申し上げます。

ここで、提案理由の御説明をさせていただく前に、係争中でありました新庁舎建設事業に係る2件の訴訟の判決について述べさせていただきたいと思います。

この2件の訴訟は、私が就任する以前に提起され、2年以上にわたり争われてまいりました。そして、7月22日に名古屋地方裁判所により判決が出され、2件の訴訟のいずれも市側の勝訴という結果でございました。

私は、この結果に安堵するとともに、訴えの原因でありました事業用地の取得に際し、前任の服部市長・大木副市長が大変な御苦勞をされて真摯に対応されてこられましたことや、議員の皆様が土地取得に関する課題に対し、真剣に御審議していただき議決をなされたことが、このたびの判決の結果であったと考えております。

改めまして、前任の服部市長・大木副市長並びに議員の皆様には、心より感謝を申し上げる次第でございます。ありがとうございました。

それでは、議案の提案理由の説明をさせていただきます。

本定例会におきまして、まず初めに御提案申し上げ、御審議いただきます議案は同意3件でございます。その概要につきまして御説明申し上げます。

同意第15号固定資産評価審査委員会委員の選任につきましては、飯田哲夫氏が令和2年9月21日任期満了のため、その後任者として、飯田哲夫氏を引き続き選任したいので、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

次に、同意第16号固定資産評価審査委員会委員の選任につきましては、佐藤孝氏が令和2年9月21日任期満了のため、その後任者として、佐藤孝氏を引き続き選任したいので、地方税法第423条第3項の規定により、議会の同意を求めるものであります。

次に、同意第17号教育委員会委員の任命につきましては、伊藤昭三氏が令和2年9月30日任期満了のため、その後任者として、矢野浩一氏を任命したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求めるものであります。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（大原 功君） これより同意議案第15号の質疑に入ります。

質疑の方ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております同意議案第15号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会への付託を省略したいと思いますのですが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会への付託を省略することに決定いたしました。

これより討論に入ります。

討論の方ありますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 討論なしと認めます。

よって、採決に入ります。

本案は、同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、同意議案第15号は原案どおり同意することに決定いたしました。

これより同意議案第16号の質疑に入ります。

質疑の方ございますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております同意議案第16号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会への付託を省略したいと思いますのですが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会への付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論の方ございますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 討論なしと認めます。

これより採決に入ります。

本案は、同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、同意議案第16号は原案どおり同意することに決しました。

これより同意議案第17号の質疑に入ります。

質疑の方ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております同意議案第17号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会への付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会への付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論の方ございますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 討論なしと認めます。

これより採決に入ります。

本案は、同意することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、同意議案第17号は原案どおり同意することに決しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第7 議案第48号 令和2年度弥富市一般会計補正予算（第4号）

○議長（大原 功君） この際、日程第7、議案第48号を議題といたします。

安藤市長に提案理由の説明を求めます。

安藤市長。

○市長（安藤正明君） 次に提案し、御審議いただきます議案は予算関係議案1件でございます。その概要につきまして御説明申し上げます。

議案第48号令和2年度弥富市一般会計補正予算（第4号）につきましては、GIGAスクール構想に伴うタブレット購入等の関係費用を計上するものであります。

以上が提案する議案の概要でございますが、議案の詳細につきましては、総務部長から説明いたしますので、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（大原 功君） 議案の説明を総務部長に求めます。

渡邊総務部長。

○総務部長（渡邊秀樹君） 議案第48号令和2年度弥富市一般会計補正予算（第4号）につきましては、歳入歳出それぞれ3億925万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を208億6,927万8,000円とするものであります。

歳入予算の内容といたしましては、教育費国庫補助金1億602万円、財政調整基金繰入金2億323万6,000円を増額計上するものであります。

歳出予算の主な内容といたしましては、教育費におきましてタブレット用ソフトなどの消耗品費7,395万5,000円、学校情報機器設定委託料3,786万1,000円、タブレット等の購入費を小・中学校合わせまして1億8,684万円を計上するものであります。以上でございます。

○議長（大原 功君） これより議案第48号の質疑に入ります。

質疑の方ありますか。

〔挙手する者あり〕

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） 2番 那須英二。

この弥富市一般会計補正予算について質疑させていただきます。

まず、このタブレット端末等の導入の関係において、3億円近い予算が出ることとなります。そのうち国のほうから1億円強の補助が入りますので、実質持ち出しは2億円強という状況になります。これは、財政調整基金を約2億円取り崩すということですから、これについて、地方創生臨時交付金のほうで対応できるのかどうかお答えください。

○議長（大原 功君） 渡邊総務部長。

○総務部長（渡邊秀樹君） お答えいたします。

このGIGAスクール構想に伴うタブレット端末の購入に係る経費の補助金を除いた分につきましては、臨時交付金の対象になります。

〔挙手する者あり〕

○議長（大原 功君） 那須議員。

○2番（那須英二君） 今、地方創生臨時交付金で対応できるということでありましたが、今、臨時交付金の枠が上限としてあると思いますが、どれほど残っていて、このタブレットの端末のほうにどれだけ充てられる状況になりますでしょうか。

○議長（大原 功君） 総務部長。

○総務部長（渡邊秀樹君） 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の第2次交付分につきましては、議案第49号の補正予算で2億6,782万9,000円を歳入として計上させていただいております。第1次交付分9,348万5,000円と合わせますと、合計3億6,131万4,000円となりますが、本市がこれまで感染症対策の経費といたしまして約2億6,800万円は臨時交

付金を充当するよう予定しております。したがって、残りの約1億円はこのGIGAスクール構想に伴うタブレット端末の購入に充当できると考えております。

〔挙手する者あり〕

○議長（大原 功君） 那須英二議員。

○2番（那須英二君） そうしますと、実質財調から出ていくのは1億円ほどになるかと思っています。今のコロナの中で、こうした財源がかかってくるのはやむを得ないことかなというふうには思います。しかし、このタブレット端末を導入することにおいて、このタブレットというのは永続的に使えるものではないと思います。というのは、恐らく5年もすれば更新していかなければならないということで、今後更新コストがかかるとは思いますが、やはりこの更新コストについては、今の国の補助だったり、今の地方創生臨時交付金みたいなものはないというふうに想定できるわけですが、国の補助があるかどうか分からないような状況において、やはりこうした継続的に多額の予算を伴うものになってきますので、特に市長においては、国・県に対してこういうものを維持できるような補助をしっかりと要望していただきたいと思いますし、また、通信費等の整備において、義務教育無償化の観点で対応をお願いしたいと思いますが、市長の考えはいかがでしょうか。

○議長（大原 功君） 安藤市長。

○市長（安藤正明君） タブレットを導入いたします。これは全国的なことでございます。弥富市もその中に入って一緒にやっていきたいと考えております。

5年もたちますと、やはり機械ものでございます、こういったものは更新ということが起きてくるわけですが、これはまた全国一律に起こることございまして、国のほうにはそれまでには十分な対応をしていただけるように要望してまいりたいと思っております。

また、環境整備でございますが、これは取りあえずタブレットを導入して学校で使えるようにしようというところまでが、今、国のほうの方針でもあるわけでございます。家庭環境等々につきましては、これからのことでございますものですから、国のほうの動向も注視しながら、弥富もそれに遅れることなく対応してまいりたいと思っております。以上でございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（大原 功君） 那須英二議員。

○2番（那須英二君） ありがとうございます。

市長のほうからも国にしっかりと要望していくということと、通信整備については、まだ今後の課題というものも残されているということでございます。

本来であれば、授業自体が直接顔を合わせて授業ができると、あとあるいは、お友達と触れ合って、教育環境に身を投じて成長していくということが本来望ましいというふうには思



っております。しかし、こうしたコロナ禍の中で、リモートで会って顔を見て話す、双方向で授業が行うことができるというツールとしては有用なものになりますので、これはいいことだなあとと思いますが、しかしながら今市長おっしゃったように、まだまだそうしたオンライン、リモートの状況では対応できるどころではないので、ぜひその対応も早急に急いでいただきながら、御努力を重ねていただきながら対応していただくことをお願い申し上げまして、質問のほうは終わらせていただきます。

○議長（大原 功君） 他に質疑の方ございませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 質疑なしと認めます。

ただいま議題になっております議案第48号は、会議規則第37条第3項の規定により委員会への付託を省略したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は委員会への付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。

討論の方ございますか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 討論なしと認めます。

これより採決に入ります。

本案は、原案どおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第48号は原案どおり可決決定いたしました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 議案第49号 令和2年度弥富市一般会計補正予算（第5号）

日程第9 議案第50号 令和2年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

日程第10 議案第51号 令和2年度弥富市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

日程第11 議案第52号 令和2年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第1号）

日程第12 認定第1号 令和元年度弥富市一般会計歳入歳出決算認定について

日程第13 認定第2号 令和元年度弥富市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について

日程第14 認定第3号 令和元年度弥富市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

日程第15 認定第4号 令和元年度弥富市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定につ

いて

日程第16 認定第5号 令和元年度弥富市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

日程第17 認定第6号 令和元年度弥富市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

日程第18 認定第7号 令和元年度弥富市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

○議長（大原 功君） この際、日程第8、議案第49号から日程第18、認定第7号まで、以上11件を一括議題といたします。

安藤市長に提案理由の説明を求めます。

安藤市長。

○市長（安藤正明君） 次に提案し、御審議いただきます議案は予算関係議案4件、決算認定議案7件でございます、その概要につきまして御説明申し上げます。

議案第49号令和2年度弥富市一般会計補正予算（第5号）につきましては、住民記録システム改修委託料や土地改良施設整備補助金等の関係費用を計上するものであります。

次に、議案第50号令和2年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）から議案第52号令和2年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第1号）までの特別会計につきましては、全会計で1億2,062万3,000円の増額を計上するものであります。

次に、令和元年度各会計の決算認定についてであります。

令和元年度の決算におきましては、平成29年度から進めてまいりました新庁舎建設工事を完了するなど、所期の目的を達成することができましたことは、議員各位をはじめとして市民の皆様方の御理解、御協力によるものであり、改めて深く感謝を申し上げる次第でございます。

ここに、認定第1号令和元年度弥富市一般会計歳入歳出決算認定のほか、認定第2号令和元年度弥富市土地取得特別会計歳入歳出決算認定から認定第7号令和元年度弥富市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定までの特別会計について、地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見をつけ、議会の認定を求めるものであります。

以上が提案する議案の概要でございますが、議案の詳細につきましては総務部長から説明いたしますので、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（大原 功君） 補正予算及び決算認定につきまして、説明を総務部長に求めます。

総務部長。

○総務部長（渡邊秀樹君） 議案第49号令和2年度弥富市一般会計補正予算（第5号）につきましては、歳入歳出それぞれ8,755万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を209億5,683万6,000円とするものであります。

歳入予算の主な内容としたしましては、普通交付税 2 億 4,477 万 4,000 円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 2 億 6,782 万 9,000 円、市債の臨時財政対策債 1 億 5,410 万円を増額計上する一方、財政調整基金繰入金 6 億 6,450 万 5,000 円を減額するものであります。

歳出予算の主な内容としたしましては、総務費におきまして住民記録システム改修委託料 341 万円、民生費におきまして生活保護費国庫負担金過年度分返還金 3,130 万円、農林水産業費におきまして土地改良施設整備補助金 2,272 万 7,000 円であります。

次に、議案第 50 号令和 2 年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）につきましては、歳入歳出それぞれ 9,652 万 1,000 円を追加し、歳入歳出予算の総額を 41 億 996 万 1,000 円とするものであります。

歳入予算としたしましては、その他繰越金 9,652 万 1,000 円を増額計上するものであります。

歳出予算の内容としたしましては、国民健康保険事業財政調整基金積立金 9,193 万 3,000 円、一般会計繰出金 458 万 8,000 円の増額であります。

次に、議案第 51 号令和 2 年度弥富市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）につきましては、前年度保険料等の納付状況の確定に伴い保険料等負担金過年度分等を計上し、歳入歳出予算の総額を 6 億 5,869 万 6,000 円とするものであります。

次に、議案第 52 号令和 2 年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）につきましては、支払基金交付金過年度分返還金 819 万 7,000 円、一般会計への繰出金 459 万 5,000 円等を計上し、歳入歳出予算の総額を 33 億 5,001 万 6,000 円とするものであります。

次に、認定第 1 号令和元年度弥富市一般会計歳入歳出決算認定につきましては、予算現額 203 億 3,762 万 6,000 円、これに対する歳入決算額 192 億 5,494 万 3,241 円で、収入率は 94.7%、歳出決算額 186 億 6,246 万 725 円で、執行率は 91.8%となりました。

歳入におきましては、前年度と比べ市税全体では 2 億 3,782 万 6,079 円の増額となりました。その内訳の主なものは、市民税が 3,695 万 9,035 円、固定資産税が 1 億 9,049 万 2,472 円であります。市税以外の主なものでは、普通交付税が 2 億 7,263 万 1,000 円、国庫支出金が 17 億 3,070 万 7,438 円、県支出金が 11 億 4,576 万 1,395 円交付され、歳入全体では前年度に比べ 15.9%、26 億 4,816 万 6,163 円の増額となりました。

一方、歳出におきましては、総務関係では、新庁舎建設工事を完了するとともに、公共施設再配置計画及び個別施設計画を策定いたしました。

福祉関係では、総合福祉センター利用者の利便性向上のため駐車場拡張工事を行うとともに、高齢者の外出支援のため福祉タクシー利用助成事業を拡充し、75 歳以上の運転免許証自主返納者にも助成することとし、高齢者福祉の増進を図りました。

保健衛生関係では、健康都市宣言の下、予防接種、各種検診事業等の受診率向上を図り、

疾病予防を推進するとともに、新火葬場建設工事に着手をいたしました。

農業関係では、水田農業構造改革事業、多面的機能支払事業を推進いたしました。また、緊急農地防災事業をはじめとする土地改良事業を行い、農道、排水路など農業生産基盤の整備に努めました。

商工関係では、企業立地指定企業交付奨励金制度により立地企業を支援し、雇用機会の拡大を図りました。また、春まつり、芝桜まつり事業及び特産物PR事業を推進し、観光の振興に努めました。

土木関係では、道路利用者の安全対策として、市道五之三78号線、市道前ヶ須36号線等の道路改良工事を行い、幹線道路などの整備を図りました。

防災関係では、愛知県防災行政無線設備と同報系防災無線設備を新庁舎へ移設工事を行いました。

教育関係では、桜小学校の長寿命化改良工事を行うとともに、小学校普通教室の空調機器設置工事を行い、教育環境の整備に努めました。

社会教育施設関係では、南部コミュニティセンターの屋上防水修繕工事や二葉テニスコートの防球ネット設置工事等を行いました。

次に、認定第2号令和元年度弥富市土地取得特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入歳出決算額ともに2億6,726万2,922円でありまして、名古屋第3環状線の街路事業前ヶ須工区において先行取得しておりました土地を県に売り払いましたので、前年度に比べ2億6,725万7,984円の増額となりました。

次に、認定第3号令和元年度弥富市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入決算額38億7,736万1,268円、歳出決算額37億8,083万9,417円であります。

次に、認定第4号令和元年度弥富市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入決算額5億6,657万155円、歳出決算額5億6,425万4,054円であります。

次に、認定第5号令和元年度弥富市介護保険特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入決算額32億5,057万5,209円、歳出決算額31億7,976万807円であります。

次に、認定第6号令和元年度弥富市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入決算額4億491万413円、歳出決算額3億5,183万2,939円でありまして、各施設の維持管理を行いました。

次に、認定第7号令和元年度弥富市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定につきましては、歳入決算額12億3,138万2,147円、歳出決算額12億1,566万3,004円でありまして、佐古木地区、下之割地区及び海老江地区の管渠布設工事等の面整備事業を引き続き進めました。

以上でございます。

○議長（大原 功君） お諮りいたします。

本案11件は継続議会で審議したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（大原 功君） 御異議なしと認めます。

よって、本案11件は継続議会で審議することに決定いたしました。

以上をもちまして、本日の議事日程は全部終了いたしましたので、本日の会議はこれにて散会いたします。

~~~~~ ○ ~~~~~

午前10時31分 散会

本会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

弥富市議会議長 大 原 功

同 議員 佐 藤 仁 志

同 議員 横 井 克 典

